



15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり (86) 健康増進施策の推進

これまでは

「健康寿命日本一」の目標達成を目指して、健康、医療、介護分野の計画を連動させた健康増進の取組を進めてきました。

- ・女性の健康寿命の全国順位は横ばいですが、男性の健康寿命の全国順位は4位となりました。
- ・健康的な生活習慣普及の取組として、禁煙支援、運動推進、減塩・野菜摂取の推進等に取り組んできました。

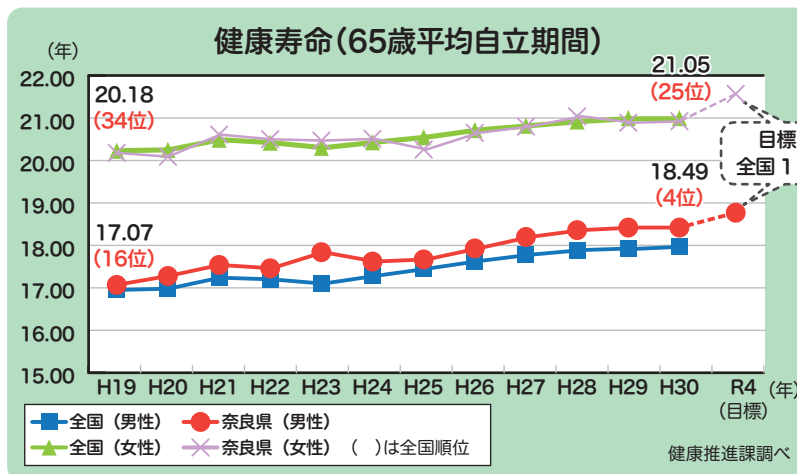
もっと良くするために

- ・健康、医療、介護分野の計画を連動させた取組を推進、それぞれの関連計画に数値目標(KGI)を定めます。
- ・健康増進分野では、市町村支援の強化により、県民の健康づくり習慣の定着を促進します。
- ・医療分野では、がん検診受診率の向上を図り、早期発見によるがん死亡率の減少を加速化します。
- ・介護分野では、住民運営の通いの場を充実させ、百歳体操などを行うことで、地域の健康度を高めます。
- ・これらの取組を効果的に進めるため、市町村と協働・連携して健康づくりの担い手である保健師の確保に取り組みます。

目指す姿

令和4年までに県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。

奈良県の健康寿命の順位は男性がトップクラスで、女性の方が低いんだね。



そのとおり。女性の健康寿命も延びるように、これからも健康づくりや介護予防に取り組んでいきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
減塩・野菜摂取の推進	中食の減塩・野菜増量の推進、市町村食育計画の推進支援		
たばこ対策の推進	禁煙支援体制の整備、市町村と連携した啓発事業や禁煙希望者への支援、未成年者喫煙防止対策及び受動喫煙防止対策の推進		
身体活動の推進 おでかけ健康法の普及	県営健康ステーションの運営、健康ステーション設置市町村への支援		
介護予防の推進	住民運営の通いの場の充実		



16. 地域医療の総合マネジメント・ (90) 地域医療構想の推進
 地域包括ケアの充実 (92) 医師確保計画、外来医療計画の策定

これまでは

- 救急や高度医療に責任を持って対応する「断らない病院」の充実を図ってきました。
- 救急や高度医療に責任を持って対応する「断らない病院」と地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」の両方の機能向上を目指し、医師の適正配置、医療機能の分化・連携について関係者と粘り強い協議を進めています。

奈良に必要なのは
 「断らない病院」と「面倒見のいい病院」



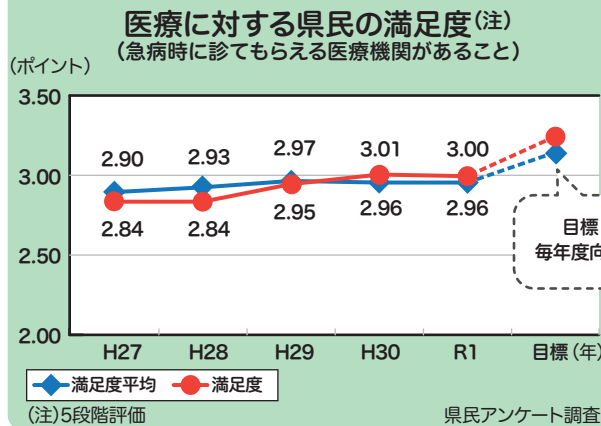
もっと良くするために

「エビデンスとナッジ」の手法で「断らない病院」と「面倒見のいい病院」の「機能分化・連携」「働き方改革」「医師の偏在対策」を一体で進めます。

目指す姿

全国のモデルとなる地域医療構想を実現します。

少子・高齢化が進んでも、安心して必要な医療を受けられることができるのかな？



医療機関の適切な役割分担と医療従事者の働き方改革を進めることで、持続可能で効率的な医療提供体制を目指していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
「断らない病院」「面倒見のいい病院」の機能強化・連携推進	医療機関の機能分化と連携の推進、 病院の診療機能・医療データの見える化の推進		
医療従事者の働き方改革の推進	医療従事者の勤務環境等の実態把握、 勤務環境支援改善センターによる助言・相談		
医師の偏在対策	医師確保修学資金の貸与、総合診療医の育成支援 へき地勤務医師の確保、医師少数区域等で勤務する医師に対する支援		



17. 福祉の充実 (96) 福祉の奈良モデル構築

これまでは

- ・ 市町村・市町村社協、県・県社協が中心の体制でした。
- ・ 地域で困りごとのある人達とどのように接触し、関係機関・職種とどのように連携するかについて検討を深め、実践的な体制づくりを図ろうとしています。

もっと良くするために

奈良県地域福祉計画に基づき取組を進めます。

- ・ 住民相互の気づきや見守り
- ・ 第1次接触者CSWの活動支援
- ・ 市町村域の包括的な相談支援体制の充実

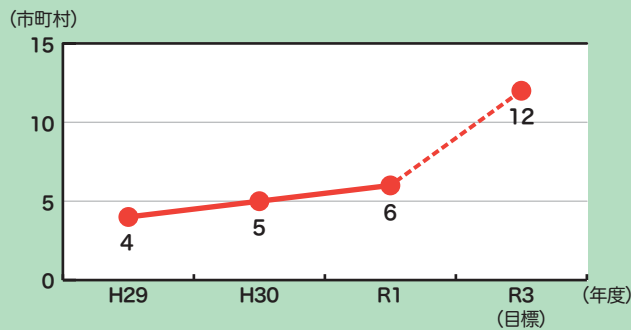
目指す姿

令和3年度までにコミュニティソーシャルワーカー配置市町村を12市町村にします。

市町村へのコミュニティソーシャルワーカーの配置支援等を進めていくことで、地域の生活課題の解決に向けた体制づくりを行うんだね。



コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数



奈良県地域福祉課調べ

県はコーディネーターの役割を果たして、地域における取組を下支えします。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
コミュニティソーシャルワーカーの支援	コミュニティソーシャルワーカー実践研修の実施		
市町村地域福祉計画策定の推進	策定支援プログラムの実施		
地域の生活課題解決に向けた体制づくり	市町村におけるモデル的取組	優良事例の他地域への拡大	
	現場での活動支援		



18. だれでもいつでもどこでも スポーツできる環境づくり

(100) スポーツ施設の整備構想策定
(102) スポーツ振興ビジョン策定と
まちなかスポーツの振興

これまで

- スポーツの振興は、奈良県が目指す健康長寿日本一を達成するための重要な施策です。
- ライフステージやライフスタイルに応じてスポーツができる機会や施設の整備が必要です。

スポーツ施設が充分でない奈良において次期国民体育大会の開催が迫り、スポーツ施設のあり方検討が必要となってきました。プロスポーツのための施設も充分ではありません。

現行のスポーツ推進計画(令和4年度まで)により、だれでもいつでもどこでもスポーツを楽しめる環境整備を目指してきました。

もっと良くするために

令和2年度中に、2030年奈良国体の主会場等にかかる整備基本計画を策定します。

スポーツ振興施策を体系化し、中長期的なビジョンを策定します。また、身近な公共スペース、公共・民間スポーツ施設の開放活用、新たなスポーツ施設の整備を通じて、まちなかスポーツ施設の整備を図ります。

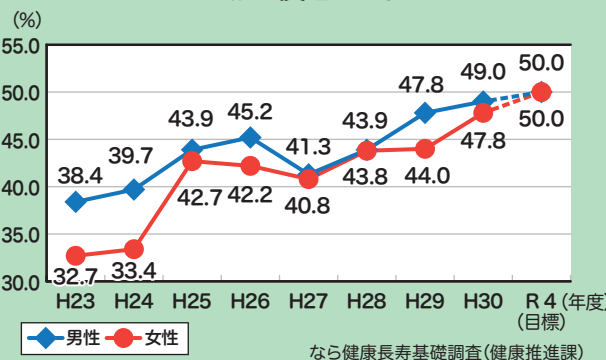
目指す姿

令和4年度までに運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人)の割合を50%以上に増やします。

スポーツをする人は徐々に増えているね。
ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西が連続開催されることから、スポーツへの関心は高まっているね。



運動習慣者の割合



奈良県では、2030年に国民体育大会が開催される予定です。盛り上がりを一過性のものとするのではなく、国民体育大会を契機にスポーツ施設を整備することで、将来的に、県民が、だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくりを目指します。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(仮称)奈良県スポーツ振興ビジョンの策定・推進	(仮称)奈良県スポーツ振興ビジョン策定	● ビジョン策定	奈良県スポーツ推進計画の評価、策定
スポーツ拠点施設の整備・運営	スポーツ拠点施設整備基本計画策定	● 計画策定	スポーツ施設的设计・整備
総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進	総合型地域スポーツクラブ活動の質的充実に対する支援		
東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際交流の促進	国際競技大会の開催を契機とした交流の促進		

● 東京2020オリンピック・パラリンピック ● ワールドマスターズゲームズ2021関西